

インターンシップ完遂…2年生の感想

どんな体験をして何を学んだのか、そして今後の成長課題は何だろう？

インターンシップが昨年 12 月 14 日～16 日の3日間、2年ぶりに行われました。60 の事業所様(機械・自動車科 23、電気・情報デザイン科 18、建築・都市工学科 19)にご協力をいただき、本校2年生がお世話になりました。大変ありがとうございました。参加生徒の報告書、感想文、お礼状からインターンシップの様子や2年生が気づいたこと、感じたことを抜粋してご紹介します。



礼儀や基本的なことができる人になることによって、細かなミスをしないう精度の高い整備ができるのだなあと勉強させてもらいました◆社員の皆さんの挨拶や手際の良い作業、無駄なことが1つなくテキパキと作業を終わらせていたことが私の中では一番印象に残りました◆朝一人一人に挨拶する大切さや、きちんと時間を守る、書き残しを無くすなどの重要性を再認識することができました。職場マナーをもっと知りマナーができていると目上の人にちゃんと思われるように頑張ります◆社会人になるためのことや、社会人になってのマナーや仕事のやり方、人間関係などを教えていただきました◆お客様との信頼関係の大切さを学びました◆私は今までビジネスマナーについてよく分かっていなかったのですが、ビジネスマナーの必要性や言葉遣いは話す人の「人柄」が表われるということを知りました◆グループワークやフレームワークを通して自分や班の仲間の意見を話し合ったり、考えを深めることができたり、コミュニケーション能力が必要だということがわかりました◆社員の方々の言葉遣いを聞いて、自分は敬語の使い方を全く理解してなかったのだと気づくことができました◆社会人としての礼儀や、将来必要になる能力について学ぶことができました◆構内見学の際にすれ違う多くの学生は立ち止まって挨拶をしていました。挨拶、礼儀が大切だと思いました◆インターンシップ担当の方がとても丁寧に作業内容や作業に意味を教えてくださいました。また見学させていただいた時も詳しく解説していただき嬉しかったです◆体験学習を通じて、電気が使えるということが当たり前ではないということを再認識することができました◆現場では実習体験をしている私に気を配りながら本来しなければならない作業を時間内にしているところがとてもかっこいいと思いました◆今回学んだ礼儀作法をもう一度見直して実際の行動にできるように生活の中で意識していきたいです。

働くことの大切さや大変さを学ぶことができました◆働くことの面白さと仕事のやりがいを生で感じることができました。普段の生活では普段の学校生活では体験できないようなこともさせていただき、自分自身をとて高めるための勉強をさせてもらえました。社員の皆さんにとて易しく教えてもらえ嬉しかったです◆仕事を機械的に行うのではなく、明るく協力し合い、お客様の気持ちを考えて行う重要性や社会人としてすべき最低限のことについて学びました◆季節や天候により職場の環境が変化しても丁寧に作業を進めていく社員の皆さんの姿を見て「働くとはこういうことなのだ」と未熟ながら僕は痛感しました◆様々な体験の場をご用意くださいましたことに心より感謝申し上げます。体験を通して社会人として「働く姿」のイメージが明確化しました◆お世話になった〇〇さんのように私も相手の緊張をほぐしてリラックスさせてくれるような人になりたいと思います◆「会社という集団で働くこと」の意味を知ることができたと思います◆作業中にアクシデントが起きた場合はすぐに最適な手段を探して作業をするなど、プロの方々は様々な手段や方法で作業効率を上げることに感銘を受けました◆責任を持って丁寧に効率よく仕事に取り組んでいる

様子を見て、将来確実に仕事に取り組む人になりたいと感じた◆トラックやバスは1つ1つの部品やタイヤなどが大きく重く、従業員の方々は1日に何台も、一見簡単に行っている整備がどれほど大変か、身をもって体験させてもらいました◆製造工程で検査することでとても良い状態の製品が送り出されることを学びました。これからはすべてやり終えた後に必ず確認することを意識します◆安全に作業するうえで仲間と協力することの大切さを学びました。実際に現場に行き点検作業を見学したとき、常に仲間と行動し、周囲の安全に気をつけていることがわかりました◆車での移動中にも仲間と協力して最大限、安全に配慮しているのには驚きました。それは自分の身を守るためだけではなく、お客様に迷惑をかけないこと、また信頼を失わないためであることがわかりました◆問題→対策→それに対する懸念→伝達事項という4つの手順を踏んで問題解決する方法、物を作ったりアイデアが浮かんだりしたときにいろいろな人に意見を聞くこと、使う人に合わせてサイズを変えたり使い方を換えたりするといった発想法など、物作りでより深く考えることができると、もっと良い物を作ることができると教えていただきました◆VR体験や高所作業車体験では、現場の雰囲気や体験でき、社員の方々が安全・迅速・正確に行う使命感を持っているということがわかりました◆絶縁テープを巻く体験や高所作業車に乗ってホットスティック(絶縁操作棒)を使って作業をする体験など学校やアルバイトではできない貴重な体験をすることができました◆現代社会において電気や通信、それを整備することがどれ程重要なことか、改めて理解しました◆今回の体験で一番勉強になったのは作業の衛生面のことです。和菓子や洋菓子の食品を扱う工場なので衛生に気を遣っていることは知っていましたが、ここまで衛生管理が徹底されているとは知りませんでした。例えばココロを使ってからだの表面全体に掛けたりタイマー付きの手洗を使ったり予想以上に徹底されていて驚きました◆体験学習を通して将来やりたい仕事が明確に定まっていなかった私に新たな選択肢を見つけさせていただきました◆興味のあるゲームづくりやプログラミングについて詳しく知ることができ、IT企業の仕事内容について理解を深めることができました。簡単なゲームでも1つ作り出すのにかなり長いプログラムを組み、何度も試行を重ねていたことを知り大変感動しました◆雨の日でも仕事をし続ける驚き感心しました◆造園の仕事にもかかわらずお客様とのたった数分の会話で仕事にも影響がでることを見学してプロのすごさに驚き、自分の未熟さを知ることができました◆マンション現場の仕事では枝の切断や清掃などを体験させていただき現場仕事の大変さややりがいを体験することができました◆営業の仕事では、直接お客様と関わることはありませんでしたが、お客様に寄り添うことで会話から信用や信頼が生まれることを知ることができました。

進 路の話で一番印象に残ったのは「選択肢はいくらでもあるから迷うのは当然。むしろ迷って欲しい。でも、迷うのとのんびりするのを一緒にしてはいけない」ということです。僕はまだ大雑把にしか進路を決めていないので内心少しモヤモヤしていたことがこの言葉を聞いていろいろ吹っ切れました◆先生のお話で「今やっておいた方がいいのは、色々なことを体験すること」という言葉は、今後選ぶ道が広がりました◆一番大きく学んだことは「広く、浅く学ぶはNG」ということです◆センスや才能がなくて諦めた夢も様々な道で叶えることができるというお話が印象に残っています。◆工業科目以外にも5教科の基礎ができていなければ研究など何もできないことを学べた◆なぜ大学へ行くのかという意義をさらに深掘りして、工学について考えることができた。研究室では研究を社会にどう役立てるかをしっかり考えることが大切だということがわかった◆印象に残ることが2つあります。1つは、口頭で説明しつつ一緒に作業をした後、お手本を映していただくやり方がとてもわかりやすかったです。もうひとつは、ゲームを作ることの大変さと難しさを知ることができたことです。インターンシップ前には疑問に思いませんでしたが、ゲームの作り方やプログラミングの仕組みを知り、興味や関心が湧きました◆学校とは違うと思ったポイントは2つあります。1つは責任の重さの違いでした。学校では所々で指導を入れてもらえますが、会社では発表するまで誤りに気づくことができず、自分一人で仕事をするには責任が増し、かなり大変なものなのだと思身をもって体験しました。2つ目は慣れることの大切さです。事前に勉強していればもっとこだわることができたので少し悔しい思いが残ってしまいました◆インターンシップが将来進学するか就職するか考えるよい機会になった。

◎お忙しい中、時間を割いてご指導を賜りましたこと心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



総工プレス 都立総合工科高校 学校だより

SO-KO PRESS 13

都立総合工科高校 学校だより '22年1月11日

東京都立総合工科高等学校 校長 中村辰雄

157-0066 世田谷区成城 9-25-1

電話 03-3483-0204

担当:教務部 高橋た・鈴木ま・出川